事例No.	2162
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県たつの市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT ・少子化・人口減少

事例種類	孤独・孤立対策

事例内容・タイトル

高齢者への“ゆるやかな見守り”を支援

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

182 高齢者への“ゆるやかな見守り”を支援【兵庫県たつの市】

事業の概要

○ たつの市は、新型コロナウイルスにより、集いの場や趣味の講座等が休止となり、地域社会との繋がりが急激に減少した高齢者の「新しい孤立」を解消するため、ICT機器を使った高齢者の見守りに関する実証実験を令和３年度から開始している。

○ 高齢者の自宅にあるTVに専用機器を設置し（Wi-Fi等の通信環境の整備は不要）、そのTVで、離れて暮らす家族が配信した写真や動画、行政等が配信した外出促進や体操等の動画を高齢者が視聴することで、孤立感解消やフレイル予防、外出意欲向上等に関する行動変容が起きるか検証を行う。

○ 離れた家族には、高齢者の動画視聴時や室温上昇時、就寝・起床時にスマートフォン等のアプリを通じて情報が届くほか、温度・湿度・照度の情報がアプリで確認できるなど、離れて暮らす家族がお互いに抵抗感を感じず、安否確認を行うことができる。



【参考情報】 人口：7.6万人
関連URL：https://www.chikaku.co.jp/press/1dMQVy2y

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



新型コロナウイルスの影響で、これまで地域と繋がりのあった高齢者の「新しい孤立」が生まれました。ICTを使えば、離れて暮らす家族による見守りが出来るとともに、動画配信を行うことで、一堂に会さなくても、フレイル予防に取り組めるのではないかと考え、実証実験を開始しました。

（たつの市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



ICT機器を活用し、高齢者と離れて暮らす家族や行政・民間企業が協働しながら、高齢者の見守りやフレイル予防等の検証を進めるに当たり、少子高齢化の進展や本格的な人口減少に対して、創意工夫で課題解決を行う事業を兵庫県が支援する『ひょうご地域創生交付金』を活用しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



高齢者が負担を感じることの少ないエイジテック【※１】を活用することで、普段通りの生活を送りながら、元気な高齢者の介護予防にも繋げることができ、家族間の自助の強化を図ることができると感じています。

また、行政が、直接、対象となる高齢者に情報を発信できるため、必要とする方に、最適な情報を迅速に発信できることにも適していると感じています。

【※１】加齢に伴う高齢者特有の課題を解決することに最適化したテクノロジーのこと

★担当：たつの市健康福祉部 高年福祉課★

令和3年度事業費　352千円
（うち、ひょうご地域創生交付金事業補助金（兵庫県）　150千円）